

Green Plan Chapter 5

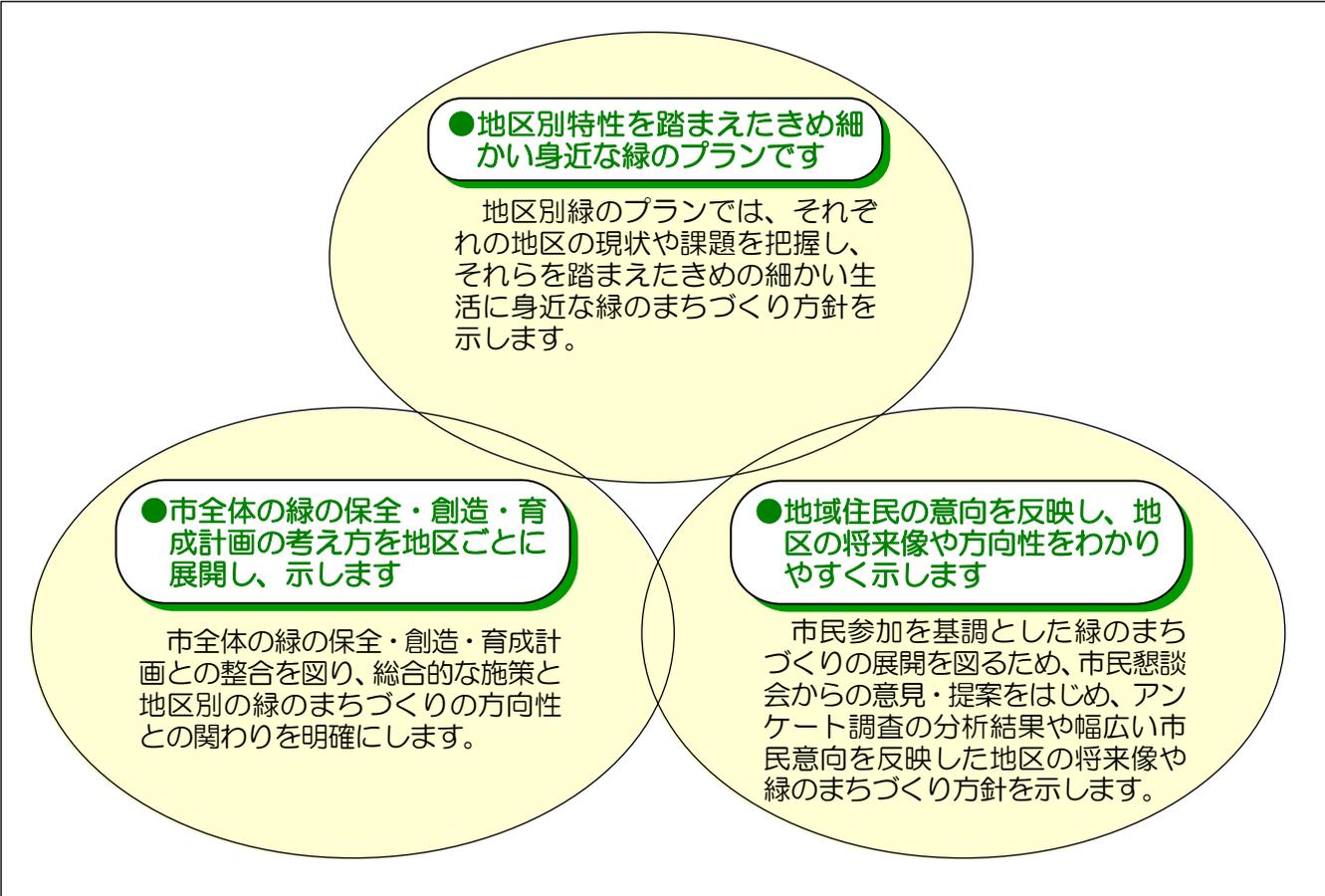
第5章 地区別緑のプラン



第5章 地区別緑のプラン

●「地区別緑のプラン」について

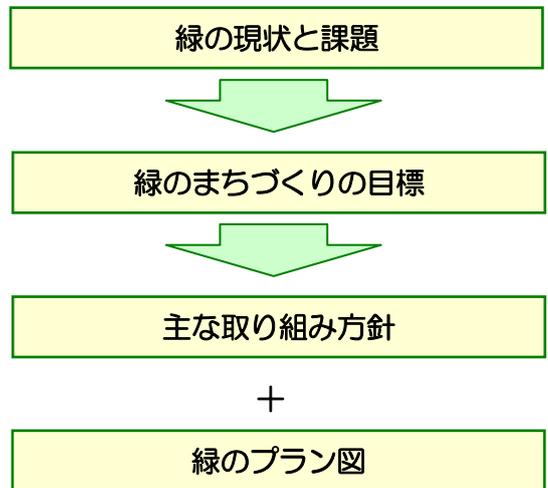
地区別緑のプランの主旨



地区別緑のプランの構成

「地区別緑のプラン」では、地区ごとの緑の現状と課題、緑のまちづくりの目標、主な取り組み方針を示します。

また、地区の緑の情報やプランを地図上に整理し、緑のプラン図として示します。



地区区分

地区区分は、合併以前の旧町村単位からなる次の6地区で区分しています。

■地区区分



1. 八田地区



○長谷寺

●緑の現状と課題

特性と緑の現況

- 市の北部に位置し、全体的に緩やかに傾斜する平坦地で、東側は釜無川、北側は御勅使川が流れています。
- 市街地や集落地は国道52号（駿信往還）や（主）甲斐芦安線沿いに形成され、その周辺に水田や樹園などの農地が広がっています。
- 主な公園としては、御勅使南公園（総合公園）があり、市街地や集落地周辺には農村公園1カ所やちびっこ広場などが11カ所分布しています。
- その他の主な緑地資源としては、釜無川と御勅使川の水辺、御勅使川の歴史的遺産（将棋頭、堀切、お熊野堤、旧河道等）、国の重要文化財に指定されている長谷寺本堂などがあります。

課題

- 釜無川、御勅使川、神明川などの良好な水辺環境の維持・向上が必要です。
- 地域の財産である長谷寺や御勅使川ゆかりの歴史資源の保全と効果的な活用が望めます。
- 宅地化が進行している市街地周辺の優良農地の保全や良好な田園景観の維持を図ることが必要です。
- 全体的に街路樹が少ないため、道路緑化の促進が望めます。

●緑のまちづくりの目標

御勅使川と釜無川の水辺と豊かな樹園の緑を守り・育てます

●主な取り組み方針

① 御勅使川の文化・歴史遺産の保全と里づくりへの活用を図ります

御勅使川堤防の文化・歴史的遺産（将棋頭、堀切、お熊野堤、旧河道等）は、地区の大きな財産であり、史跡の保存を図るとともに、長谷寺や旧御影教習所土手など、周囲を含めた緑地整備や歩行者ルートの整備、史跡公園化の検討など、里づくりへの活用を図ります。

② 水辺環境の維持・向上を図ります

釜無川や御勅使川、神明川などの河川については、水辺環境の維持・向上を図るとともに、必要に応じ親水空間の整備に努めます。また、釜無川サイクリングロードの利用促進を図るとともに、御勅使川沿いにも新たに自転車ルートを検討します。

③ 新たな公園整備と既設公園の充実・利用促進を図ります

旧御影教習所については歴史文化・防災機能をもつ公園整備を検討するとともに、既存の小公園や広場の機能の充実、有効利用を促進します。

④ 緑化重点地区等の緑化推進を図ります

緑化重点地区として位置づけた八田支所周辺については、市民との協働により、道路や公共施設、民有地の積極的な緑化を推進します。

また、街路樹が少ないことから道路沿いの低未利用地の活用や住民等の協力により、緑化に努めます。

⑤ 優良農地の保全を図ります

良好な田園景観を維持するため、農業振興地域整備計画に基づき、地域農業の振興・活性化と併せた農地の再活用と優良農地の計画的な保全に努めるとともに、休耕地については、市民農園、観光農園、体験農園などの活用を図ります。

⑥ 良好な田園景観、眺望景観の維持・向上を図ります

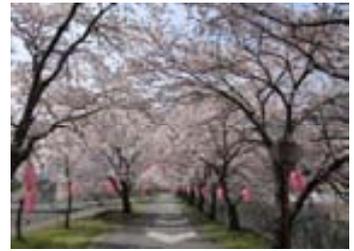
良好な田園景観や眺望景観を維持するため、農地の計画的な保全と併せて屋敷林や社寺林等の身近な緑の保全に努めるとともに、景観を損ねないような里づくりを進めます。

■緑のプラン図



【凡 例】		
【緑の拠点・緑の軸】	【公園・緑地整備計画】	【緑化推進計画】
公園レクリエーション拠点	都市公園等（既設）	緑化重点地区
水辺拠点	都市公園等（計画）	道路の緑化推進
水辺レクリエーション軸	農村公園、その他公園（既設）	水辺環境の維持・向上と緑化推進
【自然・景観の保全・育成】	レクリエーション施設	教育施設の緑化推進
優良農地（農用地）の保全	仮心るさと歴史散歩道の整備	その他主要な公共公益施設の緑化推進
歴史的景観形成ゾーン	サイクリングロード（既設）	工場等の緑化推進
文化的景観ゾーン	サイクリングロード（構想）	
社寺林・社寺境内地		
緑の文化財（天然記念物） （名称表示あり：国・県指定） （名称表示なし：市指定）		
市街地・集落地内の屋敷林等の保全と緑化推進		

2. 白根地区



○徳島堰

●緑の現状と課題

特性と緑の現況

- 市の北部に位置し、西側は甘利山などの山地、御勅使川を挟んで東側は緩やかに傾斜する御勅使川扇状地、東端の釜無川で構成される東西に細長い地形となっています。
- 市街地は国道52号（駿信往還）や白根支所周辺に、集落地は周辺の主な道路沿いに分散的に形成され、周辺は広く果樹園が分布しています。
- 主な都市公園としては、白根中央公園（地区公園）、白根中央児童公園や今諏訪ふれあい公園があり、その他、風の丘周辺の塩沢溪谷河川公園、乗馬福祉公園、市街地や集落地周辺には農村公園1カ所、ちびっこ広場などが50カ所分布しています。
現在、県施行で御勅使川福祉公園の整備が進められています。
- 主な緑地資源としては、釜無川と御勅使川、徳島堰や堰尻川などの水辺、御勅使川の歴史的遺産（石積出など）、徳島堰などの農業灌漑遺産、水宮神社と社叢、善応寺のビャクシン、山岳信仰と須沢城址、百々遺跡、「ロタコ」と掩体壕（えんたいごう）跡などの遺跡が挙げられます。
- 集落地西側の飯丘山周辺では、良好な眺望を活かした里山づくりが検討されています。

課題

- 甘利山周辺の豊かな自然環境の保全が必要です。
- 森林資源の保全と適切な維持管理が必要です。
- 現在事業中の御勅使川福祉公園の整備促進、飯丘山周辺の里山づくりの具体化検討、白根中央公園の機能強化、既設の小広場の充実、有効利用を図ることなどがが必要です。
- 釜無川、御勅使川、徳島堰～堰尻川などの良好な水辺環境の維持・向上が必要です。
- 特色ある歴史資源の保全と効果的な活用が望まれます。
- 宅地化が進行している市街地周辺の優良農地の保全や良好な田園景観・眺望の維持を図ることが必要です。
- アルプス通りなど本市の主要な観光ルートについては、緑化など魅力づくりが必要です。

●緑のまちづくりの目標

**御勅使川扇状地に広がる樹園の
美しい眺望景観を守り・育てます**

●主な取り組み方針

- ① 甘利山の豊かな自然環境を守ります**
県立南アルプス巨摩自然公園に属する甘利山周辺については、区域の指定継続を図るとともに、ここに生息する貴重な動植物の保全、生息環境の維持、美しい山岳景観の維持保全を図ります。
- ② 飯丘山周辺の里山の保全とレクリエーション活用を促進します**
眺望に優れ、また、里山として景観および環境保全上重要な緑となっている飯丘山周辺については、「緑地保全地域」による保全を検討するとともに、森林のレクリエーション活用を図ります。
- ③ 新たな公園整備と既設公園の充実・利用促進を図ります**
現在事業中の御勅使川福祉公園の整備促進や検討中の飯丘山周辺の里山づくりの具体化、既設の白根中央公園の拡充、街区公園の整備、小公園や広場の機能の充実、有効利用を促進します。
- ④ 御勅使川ゆかりの歴史遺産の保全と里づくりへの活用を図ります**
堤防遺産（石積出など）や徳島堰、水宮神社と社叢といった御勅使川ゆかりの歴史遺産のほか、須沢城址などの多くの遺跡・史跡は地区の大きな財産です。また、戦時中の御勅使河原飛行場跡である「ロタコ」や掩体壕（えんたいごう）跡などの特色ある遺跡もあります。これらの保存を図るとともに、八田地区と連携して周囲を含めた緑地整備や歩行者ルートの整備、史跡公園化の検討など里づくりへの活用を図ります。

⑤ 水辺環境の維持・向上を図ります

釜無川、御勅使川、徳島堰～堰尻川などの河川については、水辺環境の維持・向上を図ります。特に、徳島堰～堰尻川についてはシンボリックな水辺空間として滝沢川と一体的に、また、飯丘山周辺の里山づくりと併せた親水空間の整備・緑化を検討します。併せて、御勅使川沿いに新たな自転車ルートを検討します。

⑥ 緑化重点地区等の緑化推進を図ります

緑化重点地区として位置づけた白根支所周辺および道の駅周辺については、市民との協働により、道路や公共施設、民有地の積極的な緑化を推進します。

また、アルプス通りから（主）甲斐芦安線を結ぶ道路は、本市の主要な観光道路として、特色ある街路樹の植栽や沿道の緑化に努めます。

⑦ 優良農地の保全を図ります

良好な田園景観を維持するため、農業振興地域整備計画に基づき、地域農業の振興・活性化と併せた農地の再活用と優良農地の計画的な保全に努めるとともに、休耕地については、市民農園、観光農園、体験農園などの活用を図ります。

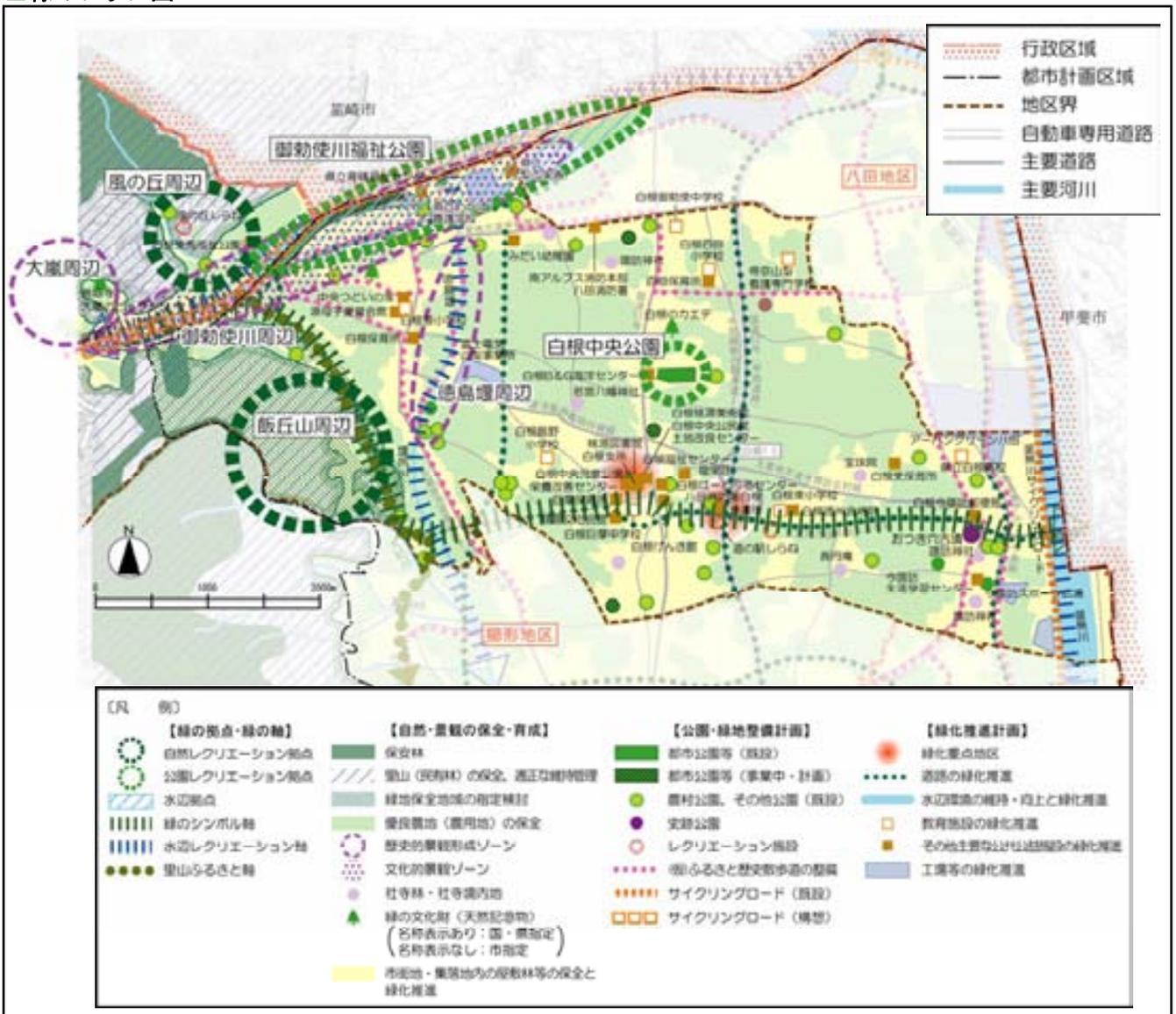
⑧ 良好な田園景観、眺望景観の維持・向上を図ります

良好な田園景観やループ橋などの眺望景観を維持するため、農地や森林の計画的な保全と併せて屋敷林や社寺林等の身近な緑の保全に努めるとともに、景観を損ねないような里づくりを進めます。

⑨ 森林の計画的な保全と適正な維持管理、資源活用を図ります

水源涵養の役割を果たしている都市計画区域外の森林は、保安林として今後とも指定継続を図るとともに、松食い虫等の害虫対策や必要に応じた樹種転換など、適正な維持管理の促進を図ります。

■緑のプラン図



3. 芦安地区



○夜叉神峠

●緑の現状と課題

特性と緑の現況

- 市の西部に位置し、地区の大部分が南アルプスを中心とした山岳森林地域となっています。集落地は古くから御勅使川沿いの山間に形成され、南アルプス山岳観光の基地として、各種観光施設も多く立地しています。
- 山岳地帯は、南アルプス国立公園（特別地域）、県立南アルプス巨摩自然公園（特別地域）に指定され、豊かな自然環境に恵まれています。
- 地区は全域が都市計画区域外であるため都市公園はないものの、中心的な公園として金山沢公園や創生広場があります。
- その他、御勅使川や金山沢の水辺や集落地、森林が織りなす独自の景観、御勅使川の歴史的遺産（芦安堰堤など）などが大きな特色として挙げられます。

課題

- 本市の財産である南アルプスの豊かな自然環境を守ることが必要です。
- 南アルプス山岳観光の基地として、魅力ある里づくり、特色ある地域景観の維持・向上を図ることが必要です。
- 水源涵養の役割を果たしている森林資源の保全と適正な維持管理を図ることが必要です。
- 御勅使川や金山沢の良好な水辺環境の維持・向上を図ることが必要です。

●緑のまちづくりの目標

**南アルプスの山岳観光の基地にふさわしい
里の緑と美しい景観を守り・育てます**

●主な取り組み方針

① 南アルプスの貴重な自然資源の保全を図ります

南アルプス国立公園区域や県立南アルプス巨摩自然公園区域の指定継続を図るとともに、ここに生息する貴重な動植物の保全、生息環境の維持、美しい山岳景観の維持保全を図ります。

② 良好な水辺の維持・向上とレクリエーション活用を図ります

御勅使川や金山沢などの水辺については、良好な水辺環境や御勅使川の歴史的遺産（芦安堰堤など）の維持保全を図るとともに、自然レクリエーションの場として積極的な活用を図ります。また、御勅使川沿いには、新たな自転車ルートを検討します。

③ 緑化重点地区として、里づくりと併せた特色ある緑化の推進を図ります

緑化重点地区として位置づけた芦安支所周辺については、市民との協働による里づくりの一環として、道路や河川、公共施設や民有地の特色ある緑化を推進します。

また、（主）甲斐芦安線および御勅使川は、本市の主要な観光軸として、特色ある街路樹の植栽や緑化に努めます。

④ 森林と渓谷に抱かれた山間の里の美しい景観の維持・向上に努めます

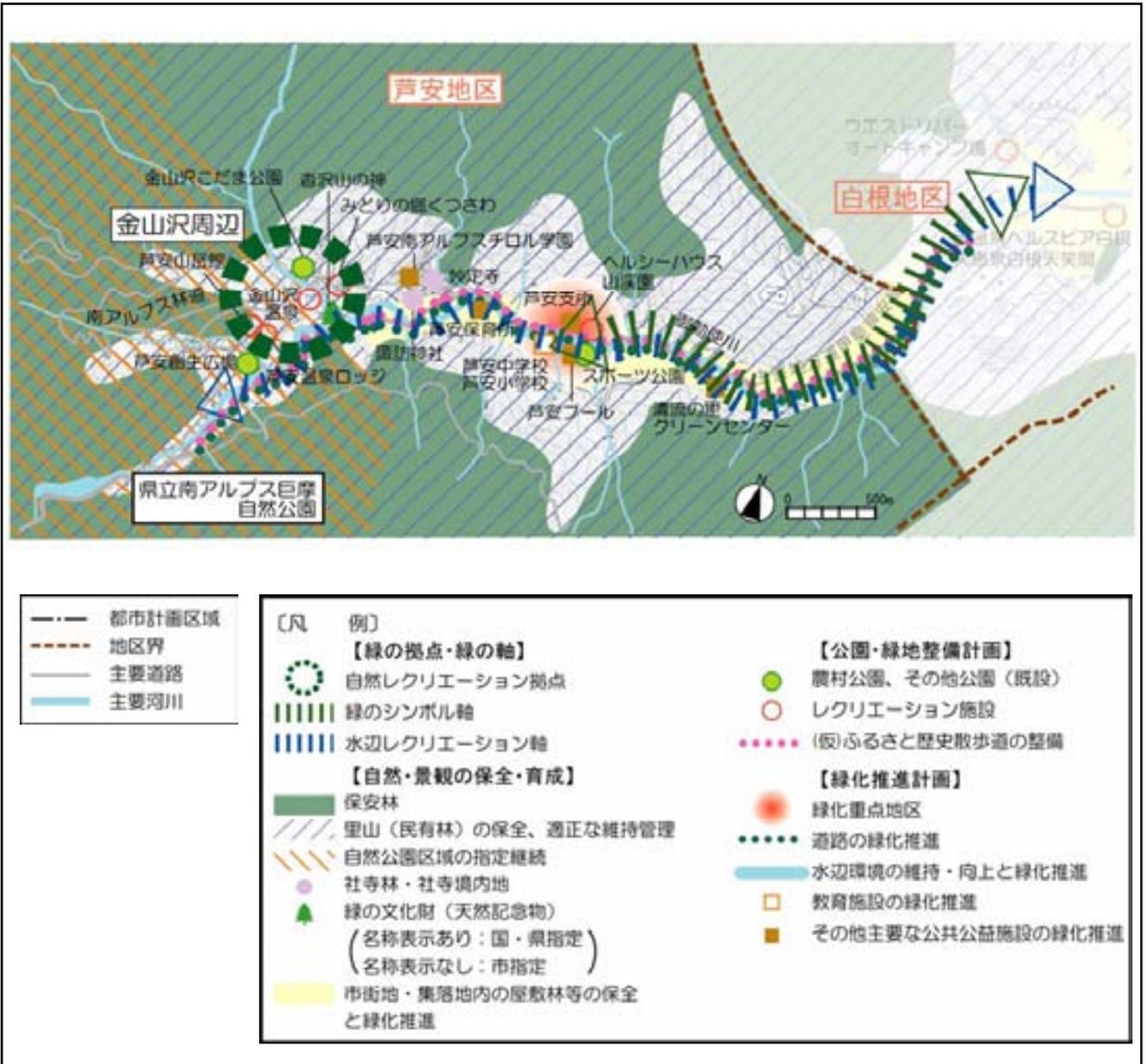
里づくりの一環として、森林の保全、水辺の維持向上、特色ある緑化の推進を図るとともに、集落地のまちなみの向上、景観に配慮した施設整備など、南アルプス山岳観光の基地として、山間の里の美しい景観の維持・向上に努めます。

⑤ 貴重な森林資源の保全と適正な維持管理、資源活用を図ります

水源涵養の役割を果たしている森林は、保安林として今後とも指定継続を図るとともに、松食い虫等の害虫対策や必要に応じた樹種転換など、適正な維持管理の促進を図ります。

また、森林のもつ多面的な役割を活かした新たなレクリエーション活動や環境教育の場として活用を図るとともに、バイオマスエネルギーなど新たな産業・地域おこしの活用策について検討します。

■ 緑のプラン図



4. 若草地区



○法善寺

●緑の現状と課題

特性と緑の現況

- 市の中央部、釜無川沿いに位置し、概ね平坦な地形の田園集落地域です。
- 地区の歴史は古く、甲斐源氏を中心とした里づくりが行われ、古代中世から残る碁盤の目の区画や数多くの古墳群、遺跡が分布しています。
- 市街地や集落地は（主）韮崎南アルプス中央線や主要市道沿いに形成され、北側は樹園、南側は水田を主体とした農地が広がっています。また、農地を中心に宅地化が進行しています。
- 主な公園としては、遊・湯ふれあい公園（地区公園）があり、市街地や集落地周辺には農村公園2カ所と小広場が17カ所分布しています。
- その他の主な緑地資源としては、釜無川や滝沢川の水辺、釜無川の将監堤などの治水の歴史的遺産、三恵の大ケヤキ、鏡中条のゴヨウマツ、十日市場の大ケヤキ、二本柳遺跡などの遺跡群などがあります。

課題

- 釜無川、滝沢川などの良好な水辺環境の維持・向上が必要です。
- 豊かな歴史遺産の保全と里づくりへの効果的な活用が望まれます。
- 宅地化が進行しており、優良農地の保全や良好な田園景観の維持を図ることが必要です。
- 地区の中心的な公園である遊・湯ふれあい公園の機能強化、南アルプス IC 周辺の整備と併せた新たな緑地整備の検討、既存の小公園や広場の充実、有効活用を図ることが必要です。

●緑のまちづくりの目標

地区の歴史を受け継ぎ、釜無川と滝沢川の水辺や樹園の緑と景観を守り・育てます

●主な取り組み方針

① 既設公園の拡充と機能充実・利用促進を図ります

地区の中心的な公園である遊・湯ふれあい公園の拡充を検討するとともに、南アルプス IC 周辺の整備と併せた新たな公園緑地整備の検討を図ります。また、既設の小公園や広場の機能の充実、有効利用を促進します。

② 豊かな歴史遺産の保全と里づくりへの活用を図ります

甲斐源氏の里づくりの歴史、将監堤などの治水の歴史的遺産、三恵の大ケヤキ、鏡中条のゴヨウマツ、二本柳遺跡などの遺跡群については、地区の大きな財産として史跡の保存を図るとともに、周囲を含めた緑地整備や歩行者ルートの整備、史跡公園化の検討など、里づくりへの活用を図ります。

③ 水辺環境の維持・向上を図ります

釜無川や滝沢川については、水辺環境の維持・向上を図るとともに、必要に応じて親水空間の整備や釜無川サイクリングロードの有効利用を図ります。

④ 緑化重点地区等の緑化推進を図ります

緑化重点地区として位置づけた若草支所周辺については、市民との協働により、道路や公共施設、民有地の積極的な緑化を推進します。

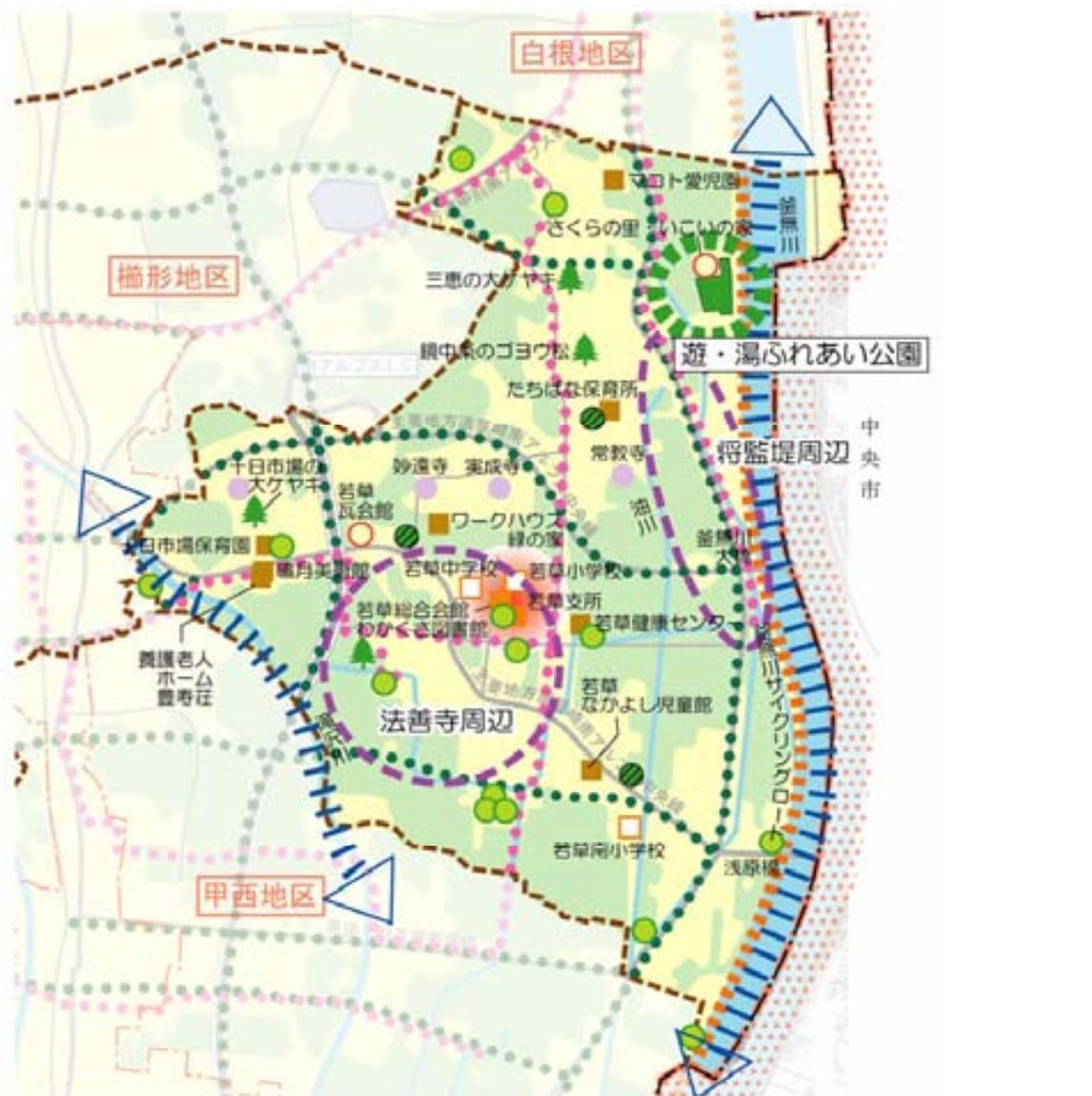
⑤ 優良農地の保全を図ります

良好な田園景観を維持するため、農業振興地域整備計画に基づき、地域農業の振興・活性化と併せた農地の再活用と優良農地の計画的な保全に努めるとともに、休耕地については、市民農園、観光農園、体験農園などの活用を図ります。

⑥ 良好な田園景観、眺望景観の維持・向上を図ります

良好な田園景観や眺望景観を維持するため、農地の計画的な保全と併せて屋敷林や社寺林等の身近な緑の保全に努めるとともに、景観を損ねないような里づくりを進めます。

■緑のプラン図



【緑の拠点・緑の軸】	【自然・景観の保全・育成】	【公園・緑地整備計画】	【緑化推進計画】
<ul style="list-style-type: none"> 公園レクリエーション拠点 水辺レクリエーション軸 	<ul style="list-style-type: none"> 優良農地（農用地）の保全 歴史的景観形成ゾーン 社寺林・社寺境内地 緑の文化財（天然記念物） （名称表示あり：国・県指定） （名称表示なし：市指定） 市街地・集積地内の屋敷林等の保全と緑化推進 	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園等（既設） 都市公園等（事業中・計画） 農村公園、その他公園（既設） レクリエーション施設 （限）ふるさと歴史散歩道の整備 サイクリングロード（既設） 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化重点地区 道路の緑化推進 水辺環境の維持・向上と緑化推進 教育施設の緑化推進 その他主要な公共公益施設の緑化推進

5. 櫛形地区



○櫛形山

●緑の現状と課題

特性と緑の現況

- 櫛形地区は市の中央部に位置し、西側は櫛形山、丸山等の山地、中央部は市之瀬台地となっており、東側は緩やかに傾斜する御勅使川扇状地で構成されています。
- 地区の歴史は古く、縄文期の遺跡群をはじめ、数多くの古墳群や甲斐源氏の里づくりの歴史を伝える史跡等が分布しています。
- 市街地は国道52号（駿信往還）や南アルプス市役所周辺に形成されており、多様な都市施設が集積し、本市の中心的な市街地を形成しています。また、その周辺にはまとまった集落地が点在し、それを囲むように樹園地や市之瀬台地の棚田等が分布しています。
- 主な都市公園としては、櫛形総合公園や滝沢川公園（地区公園）のほか、街区公園が3カ所（2カ所未整備）あり、その他、農村公園が11カ所、小広場が約20カ所分布しています。
現在、県事業として櫛形山県民の森の整備や（仮）高室川河川公園が計画されています。
- その他の主な緑地資源としては、伊奈ヶ湖周辺の美しい自然とレクリエーション資源、滝沢川、漆川、深沢川などの良好な水辺と樹林地、歴史資源が数多く分布する市之瀬台地周辺の美しい里山の景観、櫛形山林道からの富士山の眺望、平安時代から信仰される高尾の穂見神社や山村集落の景観などが挙げられます。
- 特に、市之瀬台地は、甲府盆地を一望する良好な眺望景観、大型の前方後円墳などの古墳群、甲斐源氏ゆかりの歴史資源が数多く分布しており、棚田や里山、集落地等が相まって美しい農村景観を形成しています。

課題

- 櫛形山など、豊かな自然環境を守ることが必要です。
- 森林資源の保全と適正な維持管理を図ることが必要です。
- 櫛形総合公園や滝沢川公園の機能強化をはじめ、街区公園や（仮）高室川河川公園の整備促進、櫛形山県民の森の整備事業の促進、既存の小公園や広場の充実、有効利用を図ることが必要です。
- 滝沢川、漆川、深沢川などの良好な水辺環境の維持・向上が必要です。
- 市之瀬台地など、特色ある歴史資源の保全と里づくりへの効果的な活用が望めます。
- 宅地化が進行している市街地周辺の優良農地の保全や良好な田園景観の維持を図ることが必要です。

●緑のまちづくりの目標

**地区の歴史や文化を受け継ぎ、
櫛形山に連なる美しい里の緑と景観を守り・育てます**

●主な取り組み方針

- ① **櫛形山の豊かな自然環境を守ります**
県立南アルプス巨摩自然公園に属する櫛形山周辺については、区域の指定継続を図るとともに、ここに生息する貴重な動植物の保全、生息環境の維持、美しい山岳景観の維持保全を図ります。
- ② **貴重な歴史遺産の保全と里づくりへの活用を図ります**
遺跡群や甲斐源氏ゆかりの史跡、棚田など特徴的な文化・歴史資源が分布する市之瀬台地、穂見神社を中心とした高尾の山村集落、数多く分布する古墳群などは、地区の大きな財産です。これらの保全を図るとともに、緑地整備や歩行者ルートの整備、史跡公園化の検討など、積極的に里づくりへの活用を図ります。
- ③ **既設公園の拡充と機能充実・利用促進を図ります**
既設の櫛形総合公園の事業推進と滝沢川公園の拡充整備をはじめ、街区公園や（仮）高室川河川公園の整備促進を図るとともに、既存の小公園や広場の機能の充実、有効利用を図ります。
- ④ **水辺環境の維持・向上を図ります**
滝沢川、漆川、深沢川などの河川については、水質の向上や親水空間の整備、緑化など水辺環境の維持・向上を図ります。特に滝沢川については、上流の徳島堰～堰尻川と一体となったシンボリックな水辺空間の形成を図ります。
- ⑤ **緑化重点地区等の緑化推進を図ります**
緑化重点地区として位置づけた市役所周辺および滝沢川公園周辺については、市民との協働により、河川沿いの道路や公共施設、民有地の積極的な緑化を推進します。

⑥ 伊奈ヶ湖周辺の森林レクリエーション機能の充実を図ります

伊奈ヶ湖周辺については、現在検討が進められている「櫛形山県民の森の整備事業」の促進を図り、森林レクリエーション、環境教育の拠点として一層の充実を図ります。

⑦ 優良農地の保全を図ります

良好な田園景観を維持するため、農業振興地域整備計画に基づき、地域農業の振興・活性化と併せた農地の再活用と優良農地の計画的な保全に努めるとともに、休耕地については、市民農園、観光農園、体験農園などの活用を図ります。

⑧ 森林の計画的な保全と適正な維持管理、資源活用を図ります

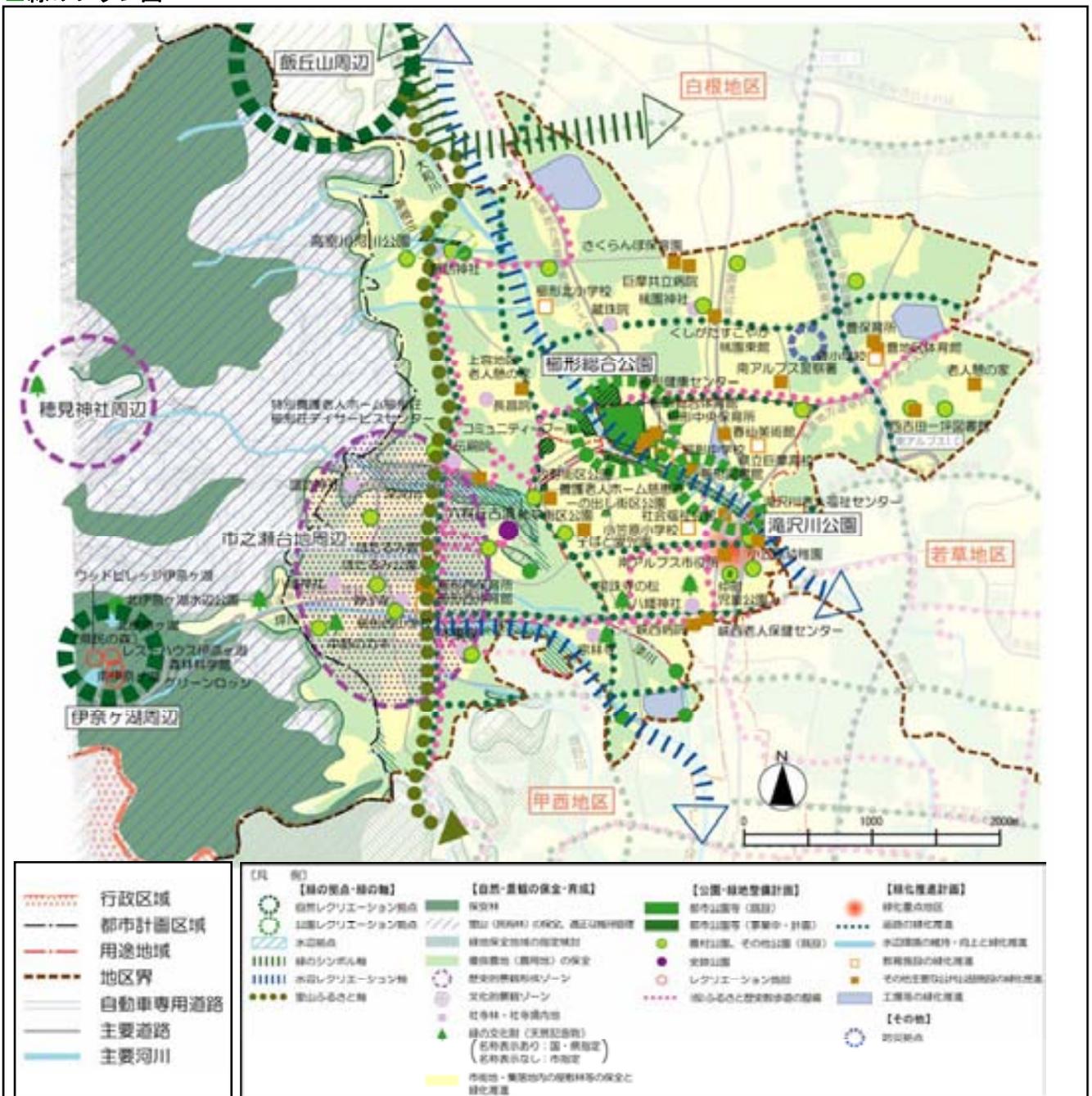
里山として景観および環境保全上重要な緑となっている市之瀬台地や深沢川周辺の斜面林については、「緑地保全地域」による保全を検討します。

また、水源涵養の役割を果たしている都市計画区域外の森林は、保安林として今後とも指定継続を図るとともに、松食い虫等の害虫対策や必要に応じた樹種転換など、適正な維持管理の促進を図ります。

⑨ 良好な田園景観、眺望景観の維持・向上を図ります

良好な樹園景観や眺望景観を維持するため、農地や森林の計画的な保全と併せ、市之瀬台地周辺の棚田や屋敷林、社寺林等の身近な緑の保全に努めるとともに、景観を損ねないような里づくりを進めます。

■ 緑のプラン図



6. 甲西地区



○古長禅寺

●緑の現状と課題

特性と緑の現況

- 市の南部に位置し、西側は城山に連なる山地や台地、中央部は扇状地に形成された市街地や集落地、東側は水田地帯の3つの地域からなっています。また、釜無川、滝沢川、秋山川、坪川など多くの河川が流れており、それらが地区南端で釜無川に合流しています。
- 市街地は、駿信往還の間宿である荊沢宿として発展した経緯をもち、国道52号周辺に形成されています。集落地は県道等主な道路沿いに点在しています。
- 主な都市公園としては、甲西ふれあい公園、秋山川すももの郷公園、坪川公園（以上は地区公園）があり、その他、雨鳴山森林公園や甲西工業団地内の市民総合グラウンド、市街地や集落地周辺には農村公園1カ所、小広場などが36カ所分布しています。現在、秋山川すももの郷公園の拡張整備が進められています。
- その他の主な緑地資源としては、秋山川上流部の里山やまとまった樹林地、釜無川をはじめとした豊かな水辺、熊野神社、古長禅寺、安藤家などの貴重な歴史資源や社寺などが挙げられます。
- 釜無川へ多くの河川が合流する地区南部の低地部は、浸水想定区域となっています。

課題

- 秋山川すももの郷公園の拡充をはじめ、甲西ふれあい公園や坪川公園などの既設公園の機能強化と魅力の向上、既存の小公園や広場の充実、有効利用を図ることが必要です。
- 釜無川、滝沢川、秋山川、坪川などの良好な水辺環境の維持・向上が必要です。
- 安藤家をはじめ、特色ある歴史資源の保全と里づくりへの効果的な活用が望まれます。
- 地区西部の城山に連なる山地や、秋山川・坪川上流部のまとまった樹林地の保全が望まれます。
- 田園景観の維持や防災上の観点からも、水田等の計画的な保全を図ることが必要です。

●緑のまちづくりの目標

**豊かな水辺空間と里山、
水田の緑と美しい景観を守り・育てます**

●主な取り組み方針

① 城山に連なる地区西部の里山の保全とレクリエーション活用を促進します

城山に連なる地区西部の山地（雨鳴山）や秋山川・坪川上流部のまとまった樹林地は、里山として景観および環境保全上重要な緑地資源であるため、「緑地保全地域」による保全を検討するとともに、既設の雨鳴山森林公園の機能の充実など、森林レクリエーションの場としての活用を図ります。

② 既設公園の拡充と機能充実・利用促進を図ります

秋山川すももの郷公園の拡充整備を図るとともに、甲西ふれあい公園や坪川公園などの既設公園の機能強化と魅力の向上、既存の小公園や広場の機能の充実、有効利用を促進します。

③ 貴重な歴史遺産の保全と里づくりへの活用を図ります

熊野神社、古長禅寺、安藤家など数多く分布する社寺等の歴史資源は、地区の大きな財産です。これらの保全を図るとともに、緑地整備や歩行者ルートの整備、史跡公園化の検討など、積極的に里づくりへの活用を図ります。

④ 水辺環境の維持・向上を図ります

滝沢川、秋山川、坪川などの河川については、水辺が既存の公園と連続するように、水質の向上や歩行者ルートの確保、緑化など水辺環境の維持・向上を図ります。

⑤ 緑化重点地区等の緑化推進を図ります

緑化重点地区として位置づけた甲西支所周辺や秋山川すももの郷公園周辺については、市民との協働により、道路や河川、公園などの公共施設や民有地の積極的な緑化を推進します。そのほか、企業による自主的な緑化が進められている甲西工業団地については、一層の緑化を促進します。

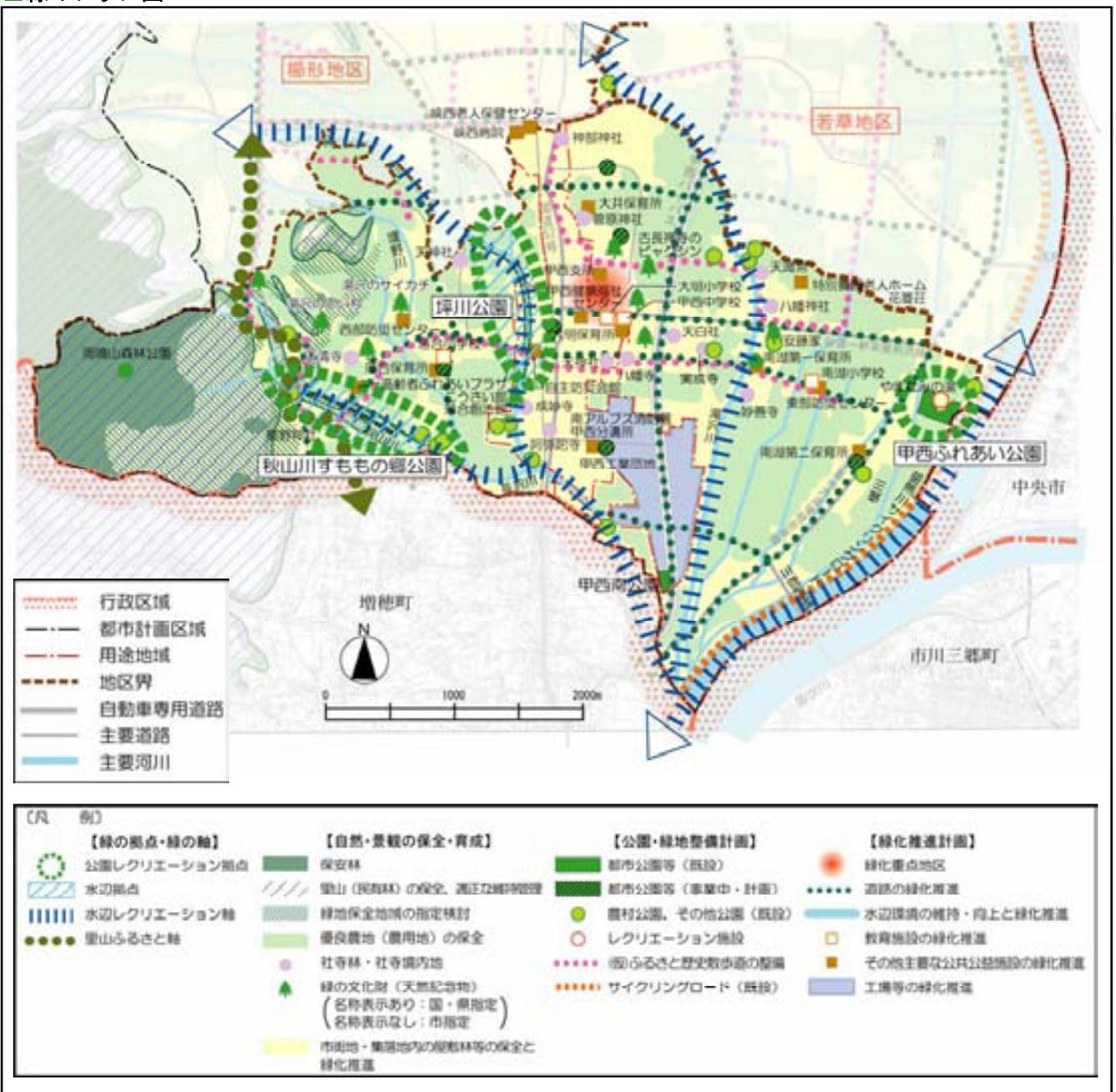
⑥ 優良農地の保全を図ります

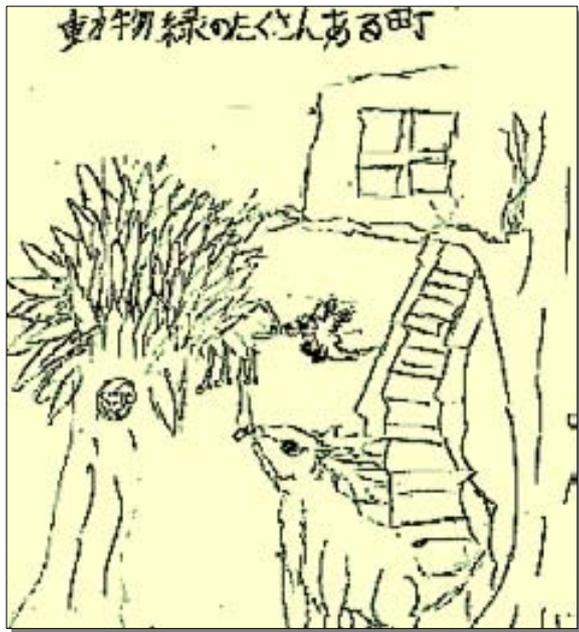
良好な田園景観を維持するため、農業振興地域整備計画に基づき、地域農業の振興・活性化と併せた農地の再活用と優良農地の計画的な保全に努めるとともに、休耕地については、市民農園、観光農園、体験農園などの活用を図ります。また、治水や防災面からも水田の保全に努めます。

⑦ 良好な田園景観、眺望景観の維持・向上を図ります

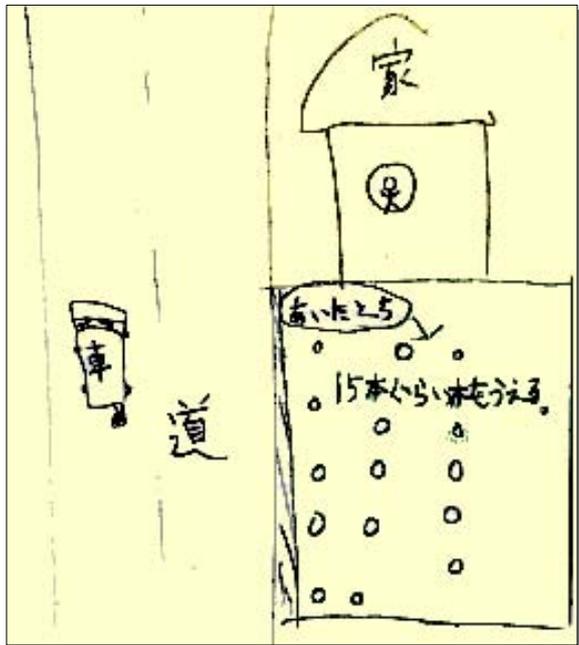
良好な田園景観や眺望景観を維持するため、水田や森林の計画的な保全と併せ、屋敷林や社寺林等の身近な緑の保全に努めるとともに、景観を損ねないような里づくりを進めます。

■ 緑のプラン図





●八田小学校



●楡形西小学校



●南湖小学校

掲載の絵は、「小学生アンケート調査」(平成17年11月～18年1月実施/市内全小学校5年生対象)で、自由記入に描いてくれた子どもたちの絵から抜粋しました。